

1/21 (火) の発表



報道発表資料の配付日時

1/21 (火)

15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆ (速報) 感染性胃腸炎患者等の発生について</p> <p>千歳保健所 介護保険施設 13名 ノロウイルス ……別紙1</p> <p>江差保健所 保育所 19名 ノロウイルス ……別紙2</p> <p>帯広保健所 保育所 16名 ノロウイルス ……別紙3</p> <p>◆ (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について公表するもの。</p> <p>江別保健所、釧路保健所 ……別紙4</p>		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	千歳、江差、帯広、江別、釧路保健所	

担当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当: 角)</p> <p>電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
-------------	--	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和2年(2020年)1月21日(火) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和2年(2020年)1月21日(火)、千歳保健所管内の介護保険施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 発生の探知
 令和2年(2020年)1月14日(火)に、千歳保健所管内の介護保険施設から、複数の利用者及び職員がおう吐、下痢、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。
- 2 発生の概要
 千歳保健所管内の介護保険施設の利用者12名及び職員1名の計13名が、1月6日(月)から1月19日(日)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち6名が医療機関を受診し、治療を受けた。
- 3 現在の状況
 1月22日(水)現在、症状は回復はもしくは快方に向かっている。
- 4 経過
 1月 6日(月)～19日(日) おう吐、下痢、発熱などの有症者発生
 1月 6日(月)～11日(土) 医療機関において有症者のうち3名の便を検査した結果、
 2名からノロウイルスを確認
 1月14日(火) 介護保険施設から保健所に通報
- 5 感染経路
 現在調査中
- 6 対応
 千歳保健所では、当該介護保険施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他
 この件については、本日15時00分、千歳保健所においても、資料配付を行っています。
 報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内における感染性胃腸炎の集団発生状況 1月21日(火)現在】

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
件数(件)	220	151	168	190	188	148	146	8
有症者数(人)	5,052	3,237	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	140

* 政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

* 定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和2年(2020年)1月21日(火) 15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
FAX: 011-232-2013

令和元年(2020年)1月20日(月)、江差保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年(2020年)1月17日(金)に、江差保健所管内の保育所から、園児がおう吐、発熱等の症状を呈している旨、江差保健所に連絡があった。

2 発生の概要

江差保健所管内の保育所の園児19名が、1月9日(木)から1月20日(月)にかけて、おう吐、発熱などの症状を呈し、うち16名が医療機関を受診し、検査及び治療を受け、うち1名が入院した。

3 現在の状況

1月21日(火)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
入院していた1名は、回復し既に退院した。

4 経過

1月 9日(木)～1月20日(月)	おう吐、発熱などの有症者発生
1月 9日(木)～1月20日(月)	医療機関において、有症者のうち13名の便を検査した結果、6名からノロウイルスを確認
1月17日(金)	保育所から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

江差保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、江差保健所においても資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。
ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の感染性胃腸炎の集団発生状況】

1月21日(火)現在

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
件数(件)	220	151	168	190	188	148	146	8
有症者数(人)	5,052	3,237	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	140

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2020年)1月21日(火)15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL:011-231-4111(内線:25-506)
FAX:011-232-2013

令和2年(2020年)1月20日(月)、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 発生の探知
令和2年(2020年)1月16日(木)に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、下痢、腹痛等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。
- 2 発生の概要
帯広保健所管内の保育所の園児15名及び職員1名の計16名が、1月14日(火)から1月20日(月)にかけて、おう吐、下痢、腹痛等の症状を呈し、うち12名が医療機関を受診し、治療を受け、うち1名が入院した。
- 3 現在の状況
1月21日(火)現在、入院中1名も含め、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過
1月14日(火)～1月20日(月) おう吐、下痢、腹痛等の有症者発生
1月16日(木) 保育所から保健所に通報
1月15日(水)～1月19日(日) 医療機関において、有症者8名を検査した結果、6からノロウイルスを確認
- 5 感染経路
現在調査中
- 6 対応
帯広保健所では、保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他
この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の感染性胃腸炎の集団発生状況 1月21日(火)現在】

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
件数(件)	220	151	168	190	188	148	146	8
有症者数(人)	5,052	3,237	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	140

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和2年（2020年）1月21日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111（内線：25-506）

FAX 011-232-2013

令和2年（2020年）第3週（1月13日（月）～1月19日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症患者及び無症状病原体保有者（ベロ毒素産生性）を確認しましたのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
江別	患者 (O157)	女性 (20歳代)	1月13日（月） 下痢、発熱、 腹痛、血便	1月13日 （月）	1月18日 （土）	入院していたが回復し、既に退院している。	—
釧路	無症状病原体 保有者 (型不明)	女性 (60歳代)	—	—	1月17日 （月）	症状は快方に向かっている。（入院はしていない。）	12月3日公表の患者（男性（小学生））の家族

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
<報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2019年） 1月19日（日）時点

区分/O抗原型	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	145	146	148	157	165	不明	合計
患者								1							2			3
無症状病原体保有者																	1	1
計								1							2		1	4

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)